R7 浜之郷小学校グランドデザイン

2025/04/01 校長 安倍

浜之郷小学校は、今ここにいる子どもと教職員、保護者・地 域が共同してつくる学校です。ましてや管理職がつくる学校 ではありません。私たち一人一人が学校づくり、教育課程づ くりの主体者であると自覚しなければなりません。

主語は「私たち」です。誰かの主義主張に乗っかって学校づ くりをしているわけではありません。私たちが、「なすことに よって、よりよく子どもたちを育てることができる」と信じてい るからこそ、行うのです。

私たちが、私たちの学校をつくりましょう。それを多くの方々 に評価していただきましょう。

それが、本来の浜之郷小学校の在り方だと思っています。

教科の本質(真正) (教科における「見方・考え方」) 学習参加

聴き あう

課題解決・探究的

協同的学び

学び 世(二): 発信!!

研修

あう

なかまへのリスペクト

「なかよし」(低)

→「共同・協力」(中)

→「信頼の上の…+α」(高)

認め

支え あう

教科の本質にせまる

学び 学びあう学び(主体的 対話的で深い学び) に せまる授業研究の機 会の提供

気軽に研究を語れる 場の設定(お話会)

教務。情報 あう

大前提

人を大切にしない行動・

言動に対しては 厳しくも温かい指導を

安全・

インクルーシフ

ダイバーシティ

信頼·安心

児童支援

だれひとり学びから取り残されない支援・ 指導体制づくり・素早い対応 一人一人の幸せを考える機会の充実 インクルーシブな学校環境づくり 人権教育・いじめ防止教室の実施

全ての教育活動が整然と、漏れや 重なりがないよう、確実に実施さ れる教育課程づくり

その評価を経ての次年度計画 新たな学習評価の研修 「声」を生かした教育課程の編成 情報モラル教室のカリキュラム化

それでも問題はおこる。

子どもたちが安心して通 える安全な学校づくり 保護者・地域や子どもた ち同士が豊かに関わる学 校づくり

児童が主体的に学校運 営にかかわる児童活動 やりがいのある学校行事

問題がきた際はすべてチーム対応。危機 管理の さ (最悪を想定して) し (慎重に) す (素早く) せ(誠意をもって)そ(組織で対応)

> 〇今を生きる私たち →「あの頃は…」を言うまい

〇私たちの浜之郷

→「学びの共同体では」ではなく 「私たちは」が主語でありたい

〇弱さを認め合う →大人も「ねえ、ここどうするの?」 を合言葉に

〇協同的探究的・ジャンプ →大人も「頭を寄せ集めて」届きそうで届か ない課題にチャレンジ!

ORPDCAサイクル

→ResearchからPDCAへ 子どもの実態から□□しよう

・・・ そして評価・計画へ

子どもには… (授業・学級へ) 分掌では…(学校へ)

安全.地域

児童活動

お名前(

コピーを1部4/4までにご提出ください